

ねぎの入荷量が増加し価格が低迷

ねぎは、10月中旬より入荷量が増加し、価格が低迷している。

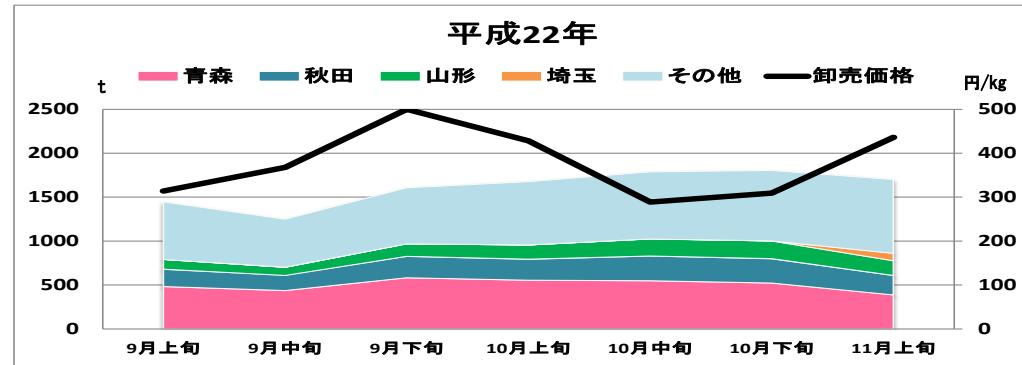
これは、

- ①9月の台風の影響で主産地の青森産、秋田産の出荷が後ろにずれ込んだこと、
- ②今年は国産の出回りが多いにもかかわらず、昨年の不作により増加した輸入が引き続き高水準で推移していること、
- ③平年より高めの気温が続いていることから、鍋需要が低迷していること等が要因になっているものと思われる。

今後は、東北産や新潟産の出荷が11月いっぱいは続くことと、後続産地である埼玉産の出荷も順調であると見込まれることから、潤沢な供給が見込まれる。

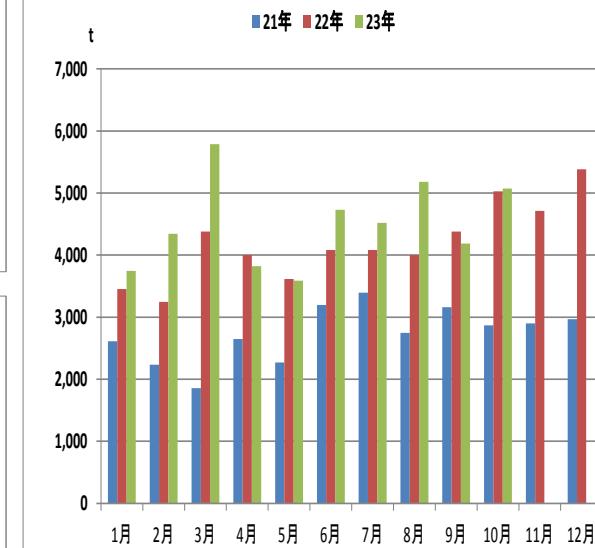
一方、需要は、寒さが長続きせず平年より高めの気温が続くと見込まれることから、弱含みで推移し、価格の低迷はしばらく続くと見込まれる。

ねぎの产地別入荷量と卸売価格の推移（東京都中央卸売市場）



ねぎの月別輸入数量の推移

ねぎの輸入数量(平成21年～23年)



資料：ベジ探（原資料）農林水産省「植物防疫統計」

資料：青果物情報センター

●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 村野、三部、須藤 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484

◆「野菜の需給・価格動向レポート」は月2回公表しています。公表日にメールにてお知らせしますので、ご希望の方はベジ探のお問い合わせから <https://www.alic.go.jp/form/vegetan.html>

★野菜ソムリエの旬ナビゲーション「ベジシャス」 http://www.alic.go.jp/y-suishin/yajukyu01_000076.html